



ウムチヨ ムイーザ学園の
子どもたち

photo NPO 法人 ルワンダの教育を考える会

あーすぷらざ
かべ新聞

2012年度 第3号

ルワンダの 子どもたちに夢を

日本に住むルワンダ人のマリールイズさんは、日本とルワンダの人々と一緒に小学校を支援しています。

マリールイズさんが子どものころは？

私が子どものころ、学校のお金が払えない友達たちが学校を追い出され、泣きながら教室から出ていったことがありました。その光景は今でも忘れられません。ルワンダでは日本みたいに全員が小学校へ行くことはできないのです。お金がある人もない人も、一緒に学べる学校があればいいのと思いました。

なぜ学校が必要なの？

1994年、ルワンダでは同じ国の人同士が殺し合いをする悲かな内戦がとつぜん起こりました。私も私の3人の子どもも、何回も命が危なかったです。

が、奇跡的に生き延びました。どうしてこんな内戦が？ 私にはみんなが等しく教育を受けられなかったことが原因のひとつだと思っています。

ルワンダは今、子どもたちのために明るい未来を残そうとがんばっています。内戦が終わったばかりの頃、ルワンダの子どもたちに夢を聞くと「大人になるまで生きられるの？」と聞き返されました。今は将来の夢を話してくれるようになりました。一人でも多くの子どもたちが教育を受けて夢を持てるように、どんな子でも通える学校が必要だと思っています。

学んだものは必ず役に立ちます。全て失っても、頭の中にあるものは、命がある限り、いつでも自分を助けてくれます。日本のみなさん、学ぶチャンスがあるなら、自ら学びの場を去るようなことはどうぞしないでください。

マリールイズさん

想像してみて！②

文字が書けないということ

もしあなただけが、自分の名前が書けなかったらどうなると思いますか？ きっと自信を失ってしまうでしょう。自分が嫌いになって勉強できなかったことを恨むようになるかもしれません。ルワンダはそうしたことも原因の一つで内戦がおきました。文字が書けないと他にどんな困ったことが起こるかな？



想像してみて！①

学校に行けないということ

ある日突然、先生から「あなたはもう学校で勉強することができません、出ていってください」と言われたらどう思いますか？



もっと詳しく知りたい人は…



『ルワンダに教育の種を
内戦を生きぬいた女性・マリールイズの物語』
2011年 かもがわ出版発行

あーすぷらざの
映像ライブラリーにも
あるよ！

神奈川県立地球市民かながわプラザ

あーすぷらざ

発行：神奈川県立地球市民かながわプラザ 指定管理者：公益社団法人 青年海外協力協会
問合せ：〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷 1-2-1 株式会社 金港美装

TEL 045-896-2121 FAX 045-896-2299 <http://www.earthplaza.jp>

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館）〈貸出施設を除く〉

あーすぷらざは、国際理解や平和、地球規模の課題について、展示やセミナーを通して学ぶ場所です。 ■再生紙を利用しています。

